

住民さんとより良い関係づくり

向日市

だんつか
團塚 瞳さん



大阪府茨木市で生まれ育ち、高校生の時に看護師を志すようになり、そして大学の看護学科へ通った。大学の実習で市町村へ行った際に、保健師活動の楽しさ、やりがいを肌で感じ、最終的に保健師の道へと進んだ。

新卒で向日市の保健師となり現在2年目、健康推進課に所属し、主に成人保健の分野でがん検診や特定保健指導などの業務に携わっている。

「住民さんと接する時、より良い関係が作れるよう心がけています。」

もともと大人しい性格で、対象者に何が必要か考え、聞き出きだそうとすることに集中しすぎる傾向があり、面談等でも上手くコミュニケーションが取れなかったと感じることがあった。そのため最近では、初対面でもお互いの緊張がほぐれるような話題を準備するなど良い関係を作れるよう工夫している。これからの目標は、早めに良い関係を築いて自然な対話の中で相手の話を聞き出せるようになることだ。

健診等の業務の他に健康教室の企画運営も行っている。

「尊敬できる先輩に囲まれ、良い刺激をいただいて毎日頑張ろうという気持ちになります。」

直近の先輩が10年以上離れていることもあり、何でも話しやすいような環境を作ってくれているという。その中で、アドバイスをいただきながら対象者にとって、より効果的な教室づくりに努めている。

2年間保健師として働いてきて、住民からも名前と呼ばれるようになってきた。住民との間に関係が築かれ、活動の成果が少しずつ出てきたことに喜びを感じている。今後は、積極性とユーモア性を高めて、ますます住民さんとの関係を深めつつ、仕事を任せられるように成長したいと語った。